

「法政大学情報メディア教育研究センター研究報告」原稿書式

—副題—

Instructions for Preparing the Manuscript for the Bulletin of Research Center for Computing and Multimedia Studies (RCCMS) Hosei University

-subtitle-

第一著者¹⁾ 第二著者²⁾

First A. Author¹⁾ and Second B. Author²⁾

¹⁾ 法政大学〇〇学部△△学科, E-mail: e-mailaddress

²⁾ 法政大学情報メディア教育研究センター, E-mail: e-mailaddress

Abstract: The abstract should be concise and contain an explicit summary of your research that states the problem, the methods used, and the major results and conclusions. It should be single-spaced in 9-point Times New Roman. Be sure to adhere to the word limitation for the abstract (250 words). It is advised to avoid referencing in the abstract (unless it is necessary). Please prepare your manuscript in a Microsoft Word file following the specific guidelines provided by Research Center for Computing and Multimedia Studies.

Keywords: Research Report, Personal Computer, Word (Please write no more than six keywords.)

1. はじめに

この文書は、「法政大学情報メディア教育研究センター研究報告」の紀要に掲載する論文の作成要領を記したものです。原稿はこの要領に沿って慎重に作成してください。このガイドラインに沿ってフォーマットされた論文のみが受理されます。この Microsoft Word のテンプレートファイルは、「法政大学情報メディア教育研究センター研究報告」のウェブサイト (<https://www.hosei.ac.jp/media/publication/>) で入手できます。このテンプレートは、2022年2月1日版です。

2. レイアウトとフォント

2.1 レイアウト

データファイルの規定用紙サイズは A4 (21cm × 29.7cm) です。余白は、上 3cm, 下 3cm, 左右各 2.5cm です。LaTeX と PDF 変換ソフトの設定を

確認してください。テキストはすべてシングルスペースで入力してください。以下の2つの例外を除いて、規定の長さの範囲内でご利用ください。(i) 新しいセクションをページの一番下から始めず、見出しを次のページの一番上に移す。(ii) テキストのセクションまたはパラグラフを完成させるために、テキストエリアの長さを1行だけ超えることができます。

2.2 フォント

本文のフォントは MS 明朝, サイズは 10pt です。Abstract のフォントは Times-Roman サイズは 9pt です。Abstract の長さは 250 字以内とします。Abstract の中での参照や引用は避けてください。

2.3 序文

タイトルラインの前のヘッドラインは変更しないでください。また、フッターも変更しないで

ください。最初に論文のタイトルを書いてください。日本語タイトル、次に英文タイトルを中央に書き、14pt, MS ゴシック (日), Times-Roman(英)のフォントを使用してください。タイトルが1行以上になる場合は、シングルスペースにしてください。

著者名は、日英併記で日本語は姓名、英文はファーストネーム、ミドルイニシャル、苗字を記載します、タイトルの2行下に12ptのMS明朝(日), Times-Roman(英)フォントで中央に記入してください。著者の所属は、中央揃えで、9pt, MS明朝(日), Times-Roman(英)イタリックフォントで、著者リストの1行下に記入します。

キーワードは6個以内とします。キーワードは左揃えで、9pt, Times-Romanフォントを使用し、行頭に”Keywords: ”と記入してください。それぞれのキーワードはカンマで区切ってください。キーワードとサマリーの間は1行空けてください。

3. 見出し

見出しは、章、節、小節に対応して、最大で3段階に分けてください。大見出しは左揃えで、10.5pt MS ゴシックフォントを使用し、「2. 数値例」のように章番号を前に記載します。大見出しの前に1行、後に0行のスペースを空けてください。

3.1 第2階層見出し

第2階層の見出しは左揃えで、10ptのMS ゴシックフォントを使用し、本文はMS明朝フォント10ptを使用する。見出しの前には1行、後には0行のスペースを空ける必要があります。

3.1.1 第3階層見出し

第3階層の見出しは、10pt MS明朝フォントを使用し、本文はMS明朝フォント10ptを使用する。「3.1.1」のようにサブセクション番号を前に置く。第3階層の見出しの前には1行、後には0行のスペースを空ける必要があります。

4. 数式

表示される数式には、アラビア数字を括弧で囲んで番号を付けてください。また、中央に配置し、上下に0.5行のスペースを空けて周囲のテキ

ストと区別してください。

式は、タイプライターで書くか、数学エディターで挿入する必要があります。グラフ、図、アニメーションなどの形式で方程式を挿入することは避けてください。

次の例は、1行の方程式です。

次の例は、複数行の方程式です。

5. 表と図

表と図は、原本または鮮明な印刷物とする。

また、本文中に配置し、最初に取り上げたページに掲載することが望ましい。

すべての表には連続した番号を付け、キャプションを付ける。表は原稿の中央に置き、表のキャプションを上にして記載する(表1)。キャプションのタイトルは中央に書き、10pt MS明朝フォントで、最初に大文字を使用する。表とキャプションの間には0.5行のスペースをとり、キャプションと表の下部と周囲の文章の間には1行のスペースをとる。

また、すべての図や写真には連続した番号を付け、参照する箇所の直後に本文中に配置する。図は、原稿の中央に配置し、その下に図のキャプションを記載する(図1)。キャプションのタイトルは中央に書き、10pt MS明朝フォントを使用し、最初に大文字を使用します。図とキャプションの間には0.5行のスペースをとり、図の上部とキャプションの下部は周囲のテキストと1行のスペースをとる。

Webサイトに掲載する電子ファイルは、カラー画像の掲載を推奨します。表記や文字の高さは2.5mm以上とします。

6. まとめ

「法政大学情報メディア教育研究センター研究報告」の紀要は、こちらのファイルから作成されます。そのため、原稿はスペルミスやタイプミスがないようにお願いします。投稿後の論文の変更は認められません。これらの指示に従って作成されていない論文は審査されず、著者に返却されます。

7. 脚注

脚注は列末とし片段とします。フォントは8pt

の MS 明朝で記載下さい¹.

表 1
Table 1

図 1
Fig.1

謝辞

謝辞（ある場合）は、結論の後に記載してください。

参考文献

- [1] 著者名 1, 著者名 2. 書籍タイトル. 出版社, 出版年, 123p.
- [2] 山本彦文, 田中豊, 新井和吉, 鈴木隆司. 気泡除去装置内旋回流れの数値解析（気泡除去性能の評価）. 法政大学計算科学研究センター研究報告. 1999, vol.12, p.1-5.
- [3] “参照文献の書き方 SIST 02-2007”. 科学技術振興機構 . <https://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST02-2007.pdf>. (accessed 2020-06-18)

付録

付録（ある場合）は、謝辞と参考文献リストの後に記載してください。

¹脚注は列末とし片段とします。フォントは 8pt の MS 明朝で記載下さい。